

新しい高齢者糖尿病治療目標基準

65歳以上の糖尿病の患者さん、新しい糖尿病治療目標ができました。
でも少し複雑でわかりにくいですね。

わかりやすいように解説していきます。

以下の の4つの質問から自分のカテゴリーを決めてください。

問1 日常生活に支障をきたす
合併症はありますか？

答；あります。  カテゴリー3

答；ありません。  問2へ

問2 買い物、食事の準備、服薬管理、金銭管理など一人で
できますか？

答；できます。  問3へ

答；できません。  問4へ

問3 物忘れがある方、周囲の人から物忘れがあるといわれた方は
主治医の先生に認知症の検査をしてもらってください。

医師答；異常ありません。  カテゴリー1

医師答；少し物忘れがあるようですね。  カテゴリー2

医師答；治療が必要です。  カテゴリー3

物忘れがない方、周囲の人から物忘れ
があるといわれたことがない方  カテゴリー1

問4 着衣、移動、入浴、トイレなど一人でできますか？

答；できます。  カテゴリー2

答；できません。  カテゴリー3

自分のカテゴリーが決まったら、自分の糖尿病治療にインスリン、スルフォニル尿素薬、グリニド薬を使っているか確認してください。わからない時は主治医の先生に聞いてみましょう。

		カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3
重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、スルフォニル尿素薬、グリニド薬など）の使用	なし	7.0%未満	7.0%未満	8.0%未満
	あり	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)

(HbA1c値)

上の表を見て、インスリン、スルフォニル尿素薬、グリニド薬を使っていなければ上の段(なし)で、カテゴリーに合わせて自分の血糖コントロールの目標値を確認してください。

使っている場合は下の段(あり)になりますが、ここで**注意が必要**です。下限と書いてる値ですが、低血糖がなければ下限を下回っても気にする必要はありません。

また、合併症を発症したり悪くなったりするのを防ぐためには、高齢の方でも**7%未満**が重要です。

合併症発症進展を防ぐことを優先されると先生が考えられた場合は、患者さんによって個別に目標を設定する場合があります。

必ず主治医の先生に確認してください。